

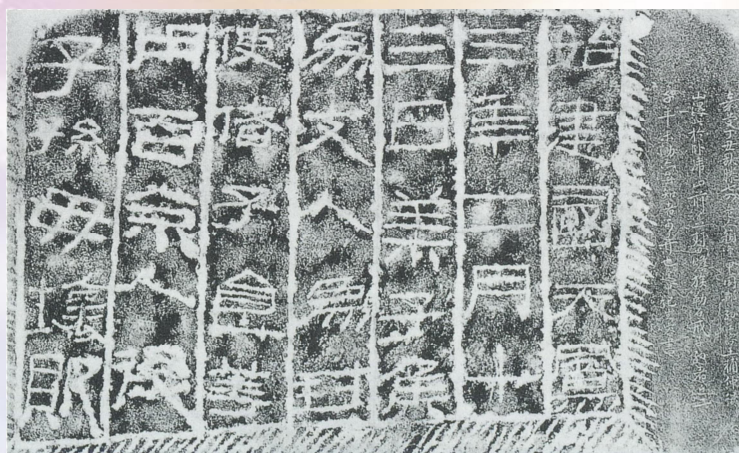
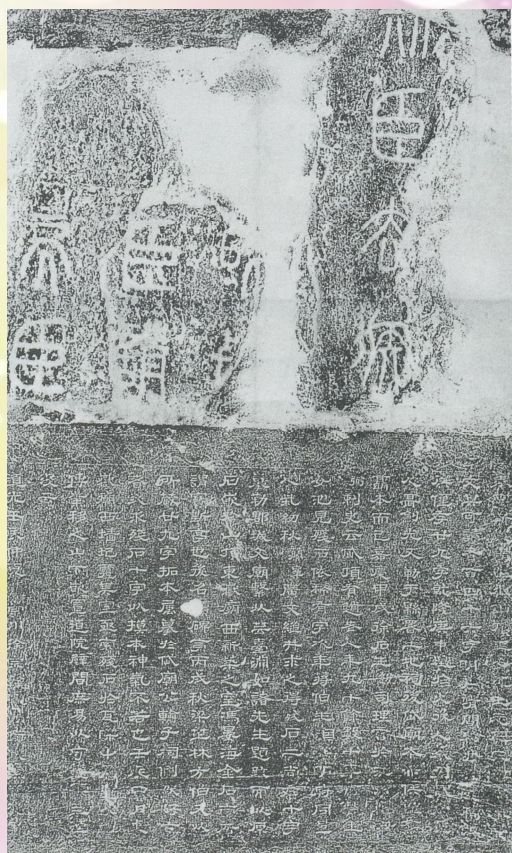
令和8年度 多胡碑記念館収蔵拓本コレクション展

しゅんじゅうせんごく

春秋戦国から

さんごくし じだい

三国志の時代



らいし こうごくせき

萊子侯刻石 天鳳3年(紀元後16年)

新の萊子侯が特別の田地を設けて、これを子孫に永久に伝えるように戒めたもの

たいざんこくせき

泰山刻石 始皇28年(紀元前219)に始皇帝が

泰山に登ったときに山頂にたてたもの

2026年

6 / 6 (土) ~ 9 / 6 (日)

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池 1085

電話 027-387-4928 FAX 027-387-8726

◎開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

◎休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)

◎入館料 **無料**(上野三碑 ユネスコ「世界の記憶」登録記念)



ユネスコ「世界の記憶」



多胡碑記念館収蔵拓本コレクション展

しゅんじゅうせんごく さんごくし

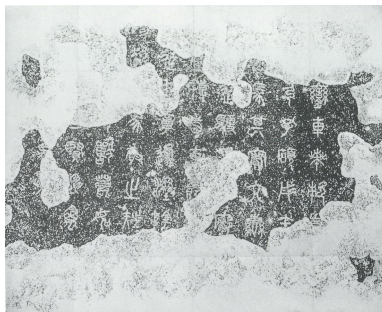
「春秋戦国から三国志の時代」

多胡碑記念館では、平成8年(1996)の開館以来、多くの拓本を収集してきました。このうち上野三碑に通じるとも考えられる古代中国の石碑・石刻の拓本類は、本館の主要な収蔵品群の一角を成しています。

今回、その収蔵拓本コレクションの一部を「春秋戦国から三国志の時代」と題して展示いたします。

本展示を通じて、古代の人々と「文字」との関わり、「文字」を石に刻み、文章を成した石碑を建てるという行為について、改めて振り返ると同時に、上野三碑への理解をいっそう深めていただく機会となれば幸いです。

【主な展示資料】



せつこぶん
石鼓文(第4拓)
周・宣王の狩獵を記念したものとされ、碑の年代は戦国時代の秦・献公11年(紀元前374)説が有力である。



こんせつ
「衰雪」二字(伝三国時代・魏)
「魏王」から曹操の書とも伝えられる。

そのほか

- ・「石虎」二字…伝前漢
- ・「石門」二字…後漢(紀元後61年)
- ・三体石経…魏(紀元後240年~249年)

などの拓本を展示予定です。

(都合により期間中に展示替えをする場合あり)



- JR高崎駅から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分
よしいバスで約10分(東谷・西吉井線「多胡碑記念館前」下車)
- 上信越自動車道 吉井I.Cから車で約7分

令和8年(2026)は、上野三碑の一つ金井沢碑が神亀3年(726)の建立から1300年、そして多胡碑記念館も、平成8年(1996)の開館から30周年を迎える記念すべき年となりました。皆様のご来館をお待ちしております(入館無料)。